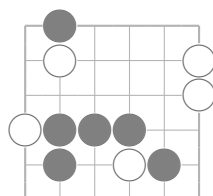


六路盤詰連珠

作品集 - 2



黒先追詰め

真野 芳久

東海連珠会

本小冊子に関する情報は、東海連珠会ホームページ^(*)の“連珠資料”内でご覧頂けます。また、pdf ファイルとして入手可能です。

(*) <http://tokai-renjukai.pya.jp/>

六路盤詰連珠 作品集 - 2

目次

1	六路盤詰連珠について	2
2	初級編	3
3	中級編	11
4	上級編	19
5	四追い問題編	23

本小冊子は、東海連珠会の Web ページ内に掲載している六路盤詰連珠の一部を冊子形式で紹介するものです。Web ページの詰連珠は、対話形式で検討できる機能を持っており、途中でヒントをもらったり、試行を繰り返して解を見つけ出す楽しみ方ができるようになっています。冊子形式ではそのような楽しみ方はできませんが、じっくり考えて解く方には向いているでしょう。

本小冊子の作成にあたり Web 上の問題を再度チェックしたところ、いくつかの問題に余詰めが見つかりました。ほとんどの場合、配石を変更することで原案への影響なく修正できましたので、Web 上の問題も変更し修正した問題をここに掲載しています。「連珠世界」誌の記事 (2011. 11, 12 号) で紹介している問題 (例 5, 例 13, 例 15。本小冊子の B11, B14, C08) も含まれていましたので、この場を借りて訂正しお詫びしておきます。本小冊子中に見つかるであろう誤りも含め、最新の正誤表を Web 上に載せていきます。

1 六路盤詰連珠について

連珠は 15×15 の連珠盤を使う競技で、詰連珠も当然その盤を使います。六路盤詰連珠はその名の通り 6×6 の盤を使う詰連珠で、連珠のルールの下で実戦的要素の多くを取り除いてコンパクトサイズにした知的ゲームあるいは知的パズルと考えられます。

基本的には連珠および詰連珠のルールに従いますが、詰連珠の魅力を狭い盤上で味わえるよう、「黒石、白石の個数と配置は自由 (中心付近に黒石がなくてもよく、極端な場合、防ぎ手側の石は 0 個でもよい)」というように、形態の面では通常の詰連珠より条件を緩めてあります。

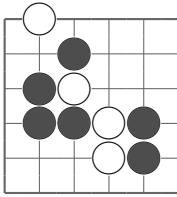
六路盤は詰連珠問題が成立し得る最小の盤です。敢えて小さな盤を使うことで、検討範囲が限られその中でしっかりと変化を読み切る訓練がしやすいという利点が考えられます。ただし、六路ゆえの制約や特殊性のために、通常の連珠センスとは幾分異なる考え方を使った方が解きやすくなる面もあります。連珠という広い世界の中の 1 つの楽しみ方、と気楽に考えてもらった方が良くもかもしれません。

詰連珠では、防ぎ手が最長手数となるように防ぐ変化を主図とすることになっています。六路盤詰連珠でも同じです。作品集-2 ではすべて黒先問題なので該当する例はありませんが、白が三を使って禁手にはめる手筋などでは記述の簡略のためにそのルールに従わない場合もあります。

Web ページに紹介している六路盤詰連珠問題では、まず追詰め問題と四追い問題に大別し、追詰め問題では難易度を ~ の 3 レベルに分けています。ここでもそれを踏襲し、 を初級編 (A01 ~ A16)、 を中級編 (B01 ~ B16)、 を上級編 (C01 ~ C08) として、3 つの節で追詰め問題を紹介しています。これに加えて、四追い問題の節 (D01 ~ D04) があります。

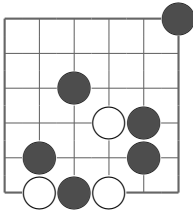
問題の作成には十分に注意を払い検討を重ねたものではありませんが、筆者の不熟さゆえに思いもかけぬ好手・好防あるいは単純な見逃しの手があつて余詰め・不詰め問題となっているかもしれません。また、解答の記述では不完全あるいは不適当な部分があるかもしれません。そのようなことがあり得ることを前もってお詫びし、その場合は筆者宛にご連絡して頂ければ幸いです。

2 初級編



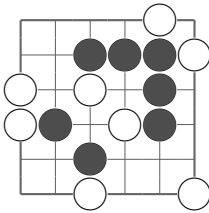
【A01_(c058)】*1 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

ヒント：四三を作る場所の見当をつけて順序正しくヒイていきます。



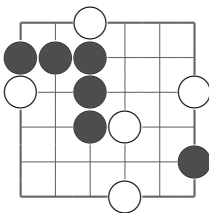
【A02_(c072)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 3 珠)

ヒント：ちょっとした罠が用意されていますが、それら
を避ければ簡単です。



【A03_(c050)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 8 珠)

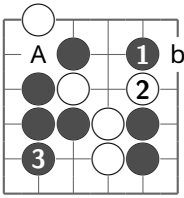
ヒント：ほとんど対称形です。「ここしかない」という一
手ですが、すべての防ぎへの対処を読み切ってください。



【A04_(c091)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：手筋の 1 手で決まります。その 1 手で本当に決
まっているかはしっかり確認して下さい。

*1 【 】内の問題番号直後の cxxx 等は、Web ページで示している問題番号です。

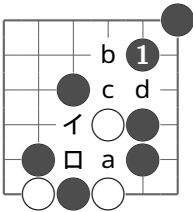


【A01_(c058) 解答】 3 後 A *²

- 2 他も同じ*³ (“A 後 3” も可能)

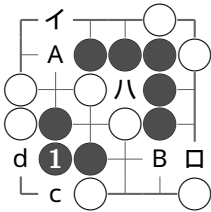
黒 3 で A は、白 b と止められます。*⁴

攻め方を誤るとノリ手になるように防がれて追詰め消滅となる例がこれからも多く出てきます。注意しましょう。



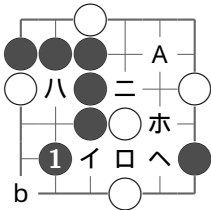
【A02_(c072) 解答】 1 後 (イ口) *⁵

最初にイは白 a と止められ、続いて 1, b としても白に c, d と止められます。最初に口は白 a と、c は白イ等と止められます*⁶。



【A03_(c050) 解答】 1 後、A or B or (A イハ) or (B 口ハ) *⁷

「中央に手あり」で、1 の両ミセが好手です。白 2 で c や d はノリ手を利用して両方を防いでいますが、いずれも四追いが残っています。



【A04_(c091) 解答】 1 後、(A (二))*⁸ or (イ口八) or (A 二ホイへ)

どの 2 でも四追いですが、b が強い防ぎです。

イあるいはイ、A と四ノビしてから 1 としても勝ちですが、同勝ち筋の増珠案となります。

*² “~ 後 A” は、A で四三となることを示します。

*³ 三やミセ手を止めることを前提としての記述なので、それらを止めなかった場合は、棒四や四三を作ります。

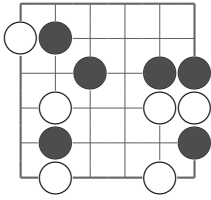
*⁴ “ ” で始まる文は、攻め手側の失敗手の説明です。

*⁵ “(イ口八)” のように丸括弧を使う場合は、四追いであることを示します。

*⁶ 他の防ぎ方もある場合は“等”を付けて示します。

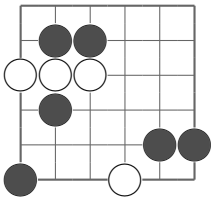
*⁷ “~ 後 A or B” は、防ぎに関わらず A か B のいずれかで四三ができることを示します。

*⁸ 四追い列中の“()” は、防ぎ方によっては必要となる四ノビであることを示します。



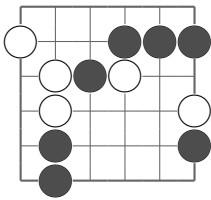
【A05_(c078)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 6 珠)

ヒント：白の剣先があると攻めにくいですか？



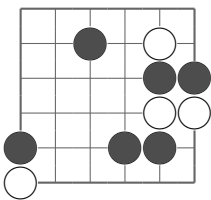
【A06_(c088)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

ヒント：追い手は限られていますので、「追詰めです」が大きなヒントです。



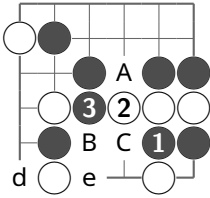
【A07_(c062)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 5 珠)

ヒント：好手の一発で決めます。好手らしき不発の手がありますので注意。



【A08_(c069)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

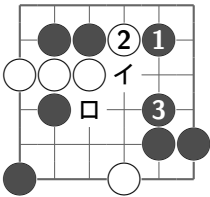
ヒント：次の狙いを持たせた攻め手を打ちます。



【A05_(c078) 解答】 3 後、A or B

- 2 他は、(2 A C)

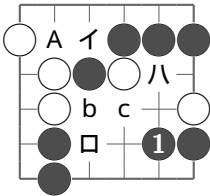
最初に 3 は白 d と止められ、続いて黒 1 としても黒 B としても白 e と四ノビされます。



【A06_(c088) 解答】 3 後 (イ口)

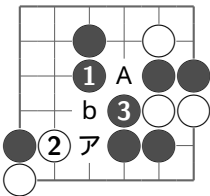
- 2 他も同じ

白 2 で四ノビすると、新たに三ができた四追い (3 口) が残ったりしますので、白の四ノビは無効です*9。



【A07_(c062) 解答】 1 後、A or (イ口) or (口ハ)

最初に口は白 b と止められ、その後 (A c) と進めても 1 の点が四々のため四三ではありません。最初にハは白 c と止められます。



【A08_(c069) 解答】 3 後 A (白の四ノビは無効)

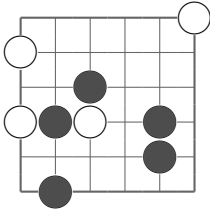
- 2 他も同じ

黒 3 で b と三ヒキしてから 3 でも勝ちですが、無駄な一手です*10。

黒ア, 1 と進めるのは、白に四で止められます。

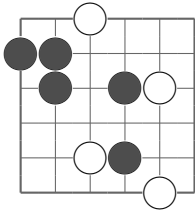
*9 「無効な四ノビ」とは、攻撃側に新たな追手が生じ、四ノビ前の追手と新たな追手を同時に止められない状態になる四ノビを言います。

*10 黒 3 の時に白 A と四ノビして黒 b と止めた場合と比べてあまり変わらないように見えますが、白 A の四ノビは無効と判断され、それを防ぐ手は黒の手数にカウントされません。詰連珠では短い手数で「以下四追い」の状態にすることが重視されます。



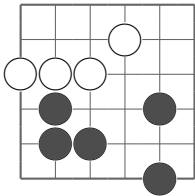
【A09_(c053)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 4 珠)

ヒント：白のノリ手防ぎをうまくかわしてゴールへ。



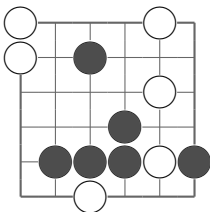
【A10_(c086)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 4 珠)

ヒント：ヒイていけば勝てそうに見えますが、白の防ぎにも注意。



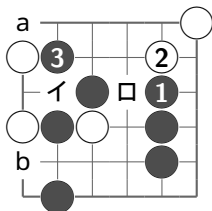
【A11_(c083)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 4 珠)

ヒント：正しい手順で進めれば白の四ノビや四三ミセは怖くありません。



【A12_(c070)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 6 珠)

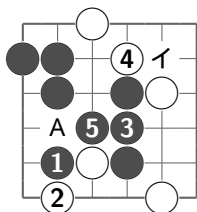
ヒント：白の四ノビをどれだけ気にしなければいけないかです。



【A09_(c053) 解答】 3 後 (イ口) (白の四ノビは無効)

- 2 他は、イ後 (3 (2))

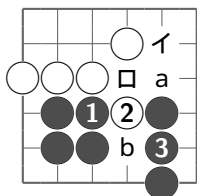
最初に 3 は白 a と止められます。最初にイは、白 3 と止められます。黒 3 でイは、白口と止められます。



【A10_(c086) 解答】 5 後 A

- 4 他は、(4 イ)
- 2 他は、4 後イ。 “イ後 4” はノラれます

最初に 4 は、白 3 と止められます。

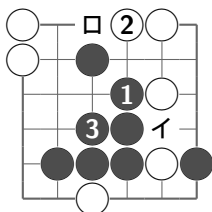


【A11_(c083) 解答】 3 後 (イ口) (白の四ノビは無効)

- 2 他も同じ

白は、どの時点で四ノビしても黒に三や四やミセ手が新たにできるため、四ノビを利用した防ぎができません。

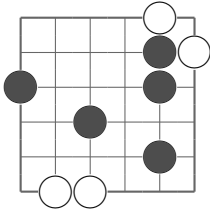
最初に 3 は、白 a と四ノビ後に b と止められます。



【A12_(c070) 解答】 3 後 (イ口)

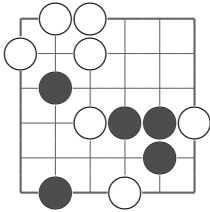
- 2 他は、3 後イ

最初にイは、白 1 等と止められます。



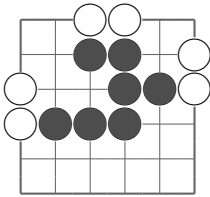
【A13_(c077)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 4 珠)

ヒント：黒の 2 手目で、ノリ手防ぎにも対応できる鮮やかな手で決めます。



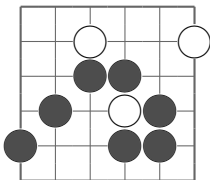
【A14_(c059)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 7 珠)

ヒント：自然な流れでの「3手の読み」をすれば打てる初手ですが、白も抵抗してきます。



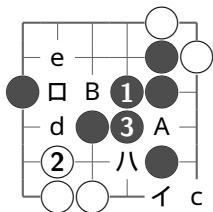
【A15_(c081)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 6 珠)

ヒント：最後は数回の四追いですが、ノリ手の応酬ではありません。



【A16_(c066)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 3 珠)

ヒント：禁手になっている場所と 2 つの剣先をどのように使うかの問題です。

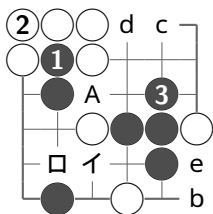


【A13_(c077) 解答】 3 後、A or B or (イロハ) *11

(4 の強防は c)

- 2 他は、(2 イロハ)

最初に 3 は白イと、B は白 1 と止められます。

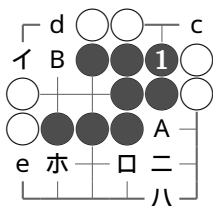


【A14_(c059) 解答】 3 後、A or (イロ)

- 2 で b は同じ イは白 e と止められます

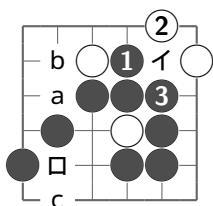
2 で A は、イ後 3 or 口

最初にイは、白 c と止められます。最初に 3 は、白イで A 点三々禁です。黒 3 でイは、白 d と四ノビされます。



【A15_(c081) 解答】 1 後、A or (イロハニホ)

最初に B は白イと止められ、次に e は白二と止められます。最初にイは、白 1 と止められます。最初にホは白 1 と止められ、続いて B は白 d と止められます。白 2 で c の時、A からの四追いはノリ手の応酬になりますが、勝てません。



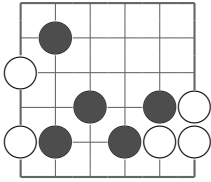
【A16_(c066) 解答】 3 後 (イロ)

禁手であった 3 の点を、2 と打たせることで打てるようにしています。

最初に a やイは白 3 と、b は白 a と、c は白口等と止められます。2, 3 と進めるのも、2, イ, 口と進めるのも、白にノラれます。

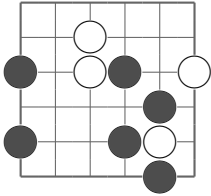
*11 d の防ぎの時の“(B e)”もありますが、“(イロハ)”でカバーされていますので敢えて記していません。

3 中級編



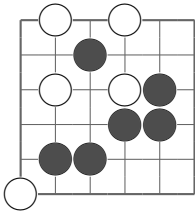
【B01_(c019)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 5 珠)

ヒント：ノラれそうになった時のことも考えます。



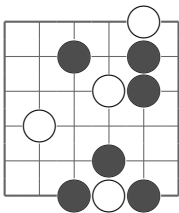
【B02_(c061)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

ヒント：最後の四追いのために剣先が残るように攻めます。



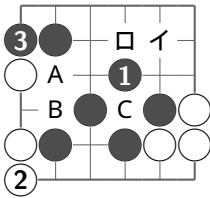
【B03_(c017)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：禁手は怖いのですが、「三々は四三の卵」とも言います。



【B04_(c064)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

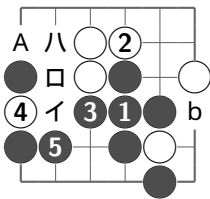
ヒント：最終の四三を見据え、防ぎの網にかからないことを確認して攻めていきます。



【B01_(c019) 解答】 3 後、A or (イ口)

- 2 他は、B 後 C (“C 後 B” も可能)

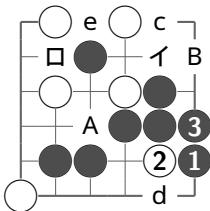
最初に B は、白 A と止められます。黒 3 で口は、白 3 と四ノビされます。



【B02_(c061) 解答】 5 後 (イ口 (ハ))

- 4 で b は同じ (A や 4 は否四三)。4 でイは、A
- 2 他も同じ

最初に 3 や 4 は白 A と、A は白 4 と止められます。

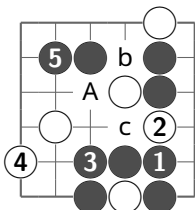


【B03_(c017) 解答】 3 後、A or B

- 2 で c, d 以外は同じ。2 で c, d は、(2 B イ口)

白 2 では c の三が怖い防ぎですが、四追いが用意されています。

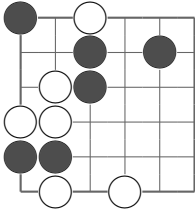
最初に 3 は、白 e と止められます。



【B04_(c064) 解答】 5 後 A

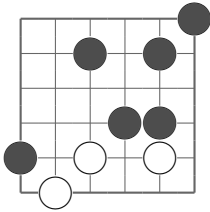
- 4 他も同じ

最初に 3 は、白 1 と止められます。最初に 5 は白 b と止められ、次に 1, 白 2, A としても白 c と止められます。



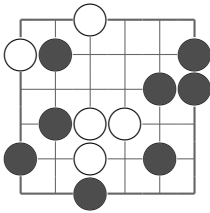
【B05_(c060)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 6 珠)

ヒント：黒の 2 手目はノリ手を防ぐ手で、それで決まります。



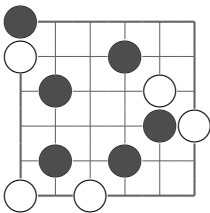
【B06_(c074)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 3 珠)

ヒント：ノラれてもノリ返しがあれば大丈夫です。



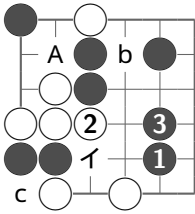
【B07_(c065)】 黒先追詰め (黒 8 珠・白 5 珠)

ヒント：右辺の二連を生かせるように打っていきます。



【B08_(c055)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：三の候補が 3 つあり、結局すべてを使うこととなりますが、その順序が問題です。

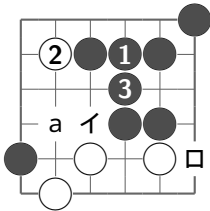


【B05_(c060) 解答】 3 後 A

(3 で A としても勝ちですが、同勝ち筋の 1 珠増)

- 2 他は、A or (イ 2)

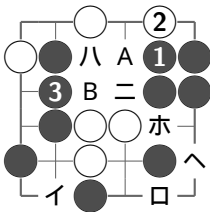
最初に A は白 b と、イは白 2 と、2 は白 c と止められます。



【B06_(c074) 解答】 3 後 (イ (口))

- 2 他も同じ (“イ後 3” も可能)

最初に 3 は白イと、イは白 a と止められます。黒 3 でイは白 a と止められます。

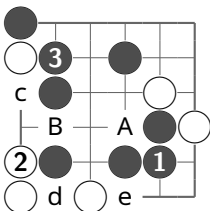


【B07_(c065) 解答】 3 後、(イ口) or (八二ホへ)

(白の四ノビは無効)

- 2 他は、(A B 3)

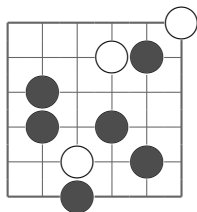
最初に B は白 3 等と、A は白 B 等と止められます。黒 3 でイは、白ホ等と止められます。



【B08_(c055) 解答】 3 後 A

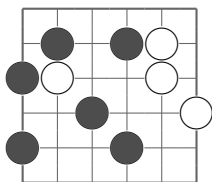
- 2 他も同じ (“A 後 3” も可能)

最初に 3 は白 d と、A は白 e と止められます。黒 3 で A は、白 c と四ノビされます (四々禁絡みで 3 や B は否四三です)。



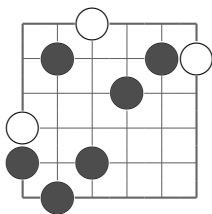
【B09_(c056)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 3 珠)

ヒント：防ぎ方に応じて別の勝ち方となります。



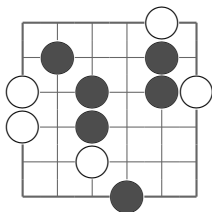
【B10_(c054)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

ヒント：三を 2 回ヒイて四追いです。



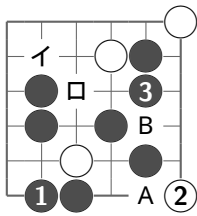
【B11_(c039)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 3 珠)

ヒント：ミセ手を活用して決めます。



【B12_(c068)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

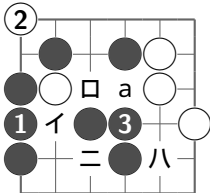
ヒント：白のノリ手や剣先利用の防御に耐えられる攻め方が必要です。



【B09_(c056) 解答】 3 後 (イ口)

- 2 他は、A 後 B

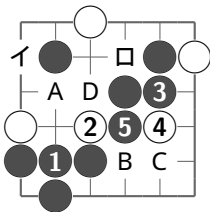
初手から A, 1 と進めるのは、白に B, 2 と止められます。



【B10_(c054) 解答】 3 後 (イ口八二)

- 2 他は、3 後 (イ口八)

最初に 3 は白 a と止められます。

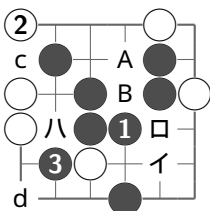


【B11_(c039) 解答】 5 後、A or B

(黒 5 で、A, 5 あるいは B, 5 は、同勝ち筋の 1 珠増)

- 4 他は、A or C
- 2 他は、(B 2 A イ口)

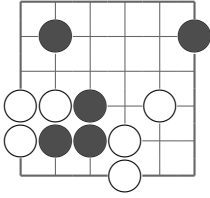
最初に A は、白 1 と止められます。黒 3 で D は白 5 と、5 は白 C と止められます。黒 3 から A, 3 と進めると、白 5 と四ノビされます。



【B12_(c068) 解答】 3 後 (イ口八)

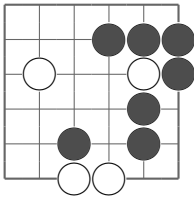
- 2 他は、A 後 B。 “B 後 A” はノラれます

最初に A は白 c と、B は白 d と止められます。黒 3 で A や B は、白 c と四ノビされます。



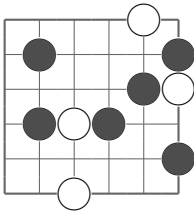
【B13_(c021)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 6 珠)

ヒント：「三・四三」らしきものが 2 つ見えますが、いずれもノラれています。手順は重要です。



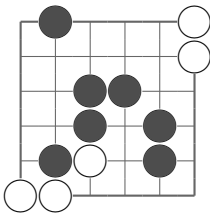
【B14_(c022)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 4 珠)

ヒント：横の剣先を最大限に生かすようにします。



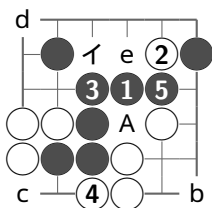
【B15_(c067)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

ヒント：2 手目に好手を放って決めます。



【B16_(c057)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 5 珠)

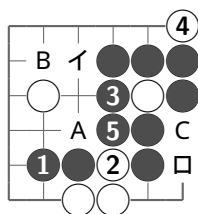
ヒント：二重に三々禁を狙われ、絶体絶命のようですが、……。禁手筋を逆用する起死回生の手を放ちます。



【B13_(c021) 解答】 5 後 A

- 4 他も同じ (“A 後 5” も可能)
- 2 他は、(2 イ)

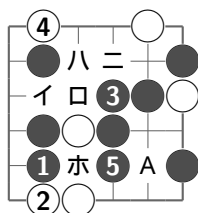
最初に 3 は白イと止められ、次の黒 1 には白 c に、黒 A には白 d に止められます。最初に 2 は白 1 と、イは白 3 と、e は白イ等と止められます。黒 5 で A は、白 b と止められます。



【B14_(c022) 解答】 5 後、A or B

- 4 他は、(イ口)
- 2 他は、口、あるいは 3 後 (2 5 B)

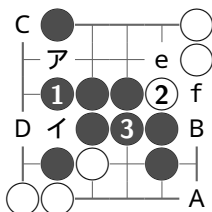
最初に口は、白 4 と止められます。黒 3 で C は、白 4 等と止められます。



【B15_(c067) 解答】 5 後 A

- 4 他は、同様、あるいは (イ口) or (4 八二)
- 2 他は、(ホ A)

最初に 3 は、白 1 等と止められます。黒 3 で八は、白 二等と止められます。黒 5 で A は、白口と止められます。



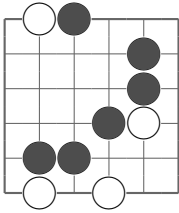
【B16_(c057) 解答】 3 後、白の防ぎ手で三が復活するか、A or B or C or D の四ノビによる白の防ぎ手で三を復活させる勝ち

(3 自身は三ですらないが、上記の四追いを含んでいます)

- 2 他は、2 (アやイでも勝ちです)

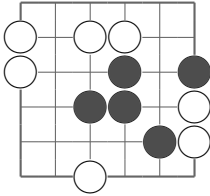
最初にアやイは、白 3、黒 2 (否三々) 後に白 e と止められます。最初に e や f は白 2 とされ、3 の点が三々禁となります。最初に 2 や 3 は、三々禁です。

4 上級編



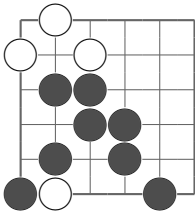
【C01_(c073)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

ヒント：うまくいきそうな手順は多くあるのですが……。トビ三が活躍します。



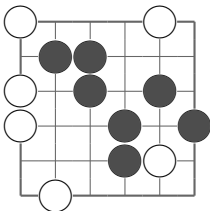
【C02_(c071)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 7 珠)

ヒント：簡単そうに見えますが難問です。四々禁絡みの防ぎを成立させてはいけません。



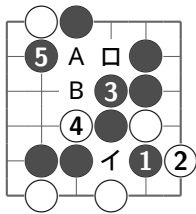
【C03_(c023)】 黒先追詰め (黒 8 珠・白 4 珠)

ヒント：禁手になっている箇所を逆用して攻めます。



【C04_(c052)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 6 珠)

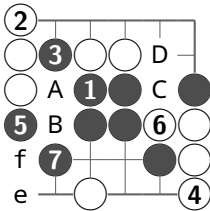
ヒント：攻め方によっては禁手筋を使った防ぎが見えていますが、恐れてはいけません。



【C01_(c073) 解答】 5 後 (イ口)

- 4 他は、(4 イ口 A)。“(4 B)” は四三々です
- 2 他は、B 後 4。“4 後 B” はノラれます

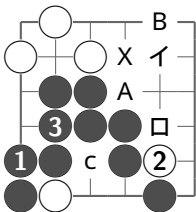
最初に 3 は白 4 と、4 は白 3 と止められます。黒 3 で A は白 4 と止められ、5 は白 3 と四ノビされます。黒 3 で B は、白 A で三々禁です。



【C02_(c071) 解答】 7 後 A

- 6 他は、‘7 後 B’ or ‘D 後 C’ or ‘D 後 6’、あるいは (A B) or (C 6)
- 2 他は、D 後 C

最初に D は白 e と止められ、その後 1 や C には白 f の四ノビにより、四々禁絡みで防がれます。黒 3 で D は白 f の四ノビ後に、黒 3 で 5 は白 3 の四ノビ後に、7 と止められます。黒 3 で 7 は、白 f と D の四ノビ後に 4 と止められます。黒 3 で B は、白 A 等と止められます。

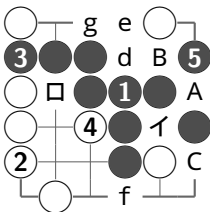


【C03_(c023) 解答】 3 後 A

- 2 で c は同じ。2 で他は (2 イ口)

A とした時、X 点が四々のため縦の三連は三でなく、A は四三です。

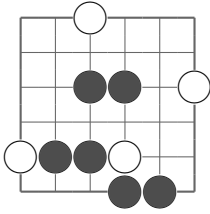
最初に 3 は、白口と止められます。黒 3 後に B と四ノビするのは、黒 A の時にノラれるため失敗です。



【C04_(c052) 解答】 5 にて復活した三と、A での四三勝ち

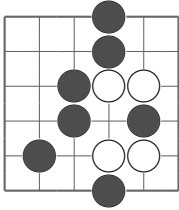
- 4 で他は、4 後 B、あるいは (口 4) or (口 4 B)
 - 2 で d は、C 後 A or (イ 4)。“イは白 g と止められます
- 2 で 3 の四ノビ後に e や f は、(d 5 A)

最初に 3 は白 1 と止められます。最初に 4 は白 g と止められ、その後の 1 には白 d と止められます。



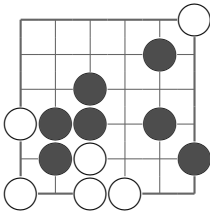
【C05_(c048)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

ヒント：四三を作るスペースを確保しつつ、力を蓄えるように攻めます。



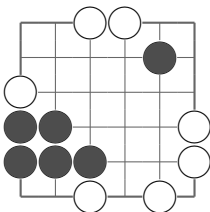
【C06_(c063)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 4 珠)

ヒント：上辺・下辺の盤端をうまく利用します。最後まで丁寧に。



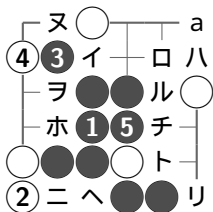
【C07_(c020)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 6 珠)

ヒント：禁手かどうか、禁手だったらどうするかをよく考える必要のある問題です。



【C08_(c016)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 7 珠)

ヒント：1手目の候補は沢山ありそうですが、多くはノリ手あるいは後でノリ手になる防ぎが強防となります。



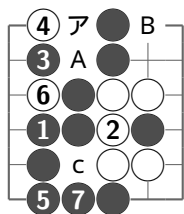
【C05_(c048) 解答】 5 後 (イ口ハニホ)。(“(へニホ) or (口トチ)”としてもよい)

(白の四ノビは他の勝ちが出るため無効)

3 ではイヤ口の四ノビをしても勝ちですが、同じ勝ち筋の増珠案となります。

- 4 で口や a は、ホ後 (へリ 5) or (又イチ)
- 4 で他は、(イ口)、あるいはト後 (ロルヲ)
- 2 他は、へ

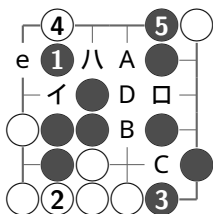
最初にへは、白 2 と止められます。黒 3 で 5 やトは、白 3 と止められます。



【C06_(c063) 解答】 7 後 A

- 4 で 5 は、(4 B)。4 で 6 は、ア後 A or B
- 2 他も同様。ただし、5 の四ノビは不要

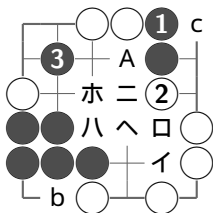
最初に A は、白 c と止められます。黒 3 でアは白 4 と、A は白 c と、4 は白アと止められます。黒 5 で 7 は、白 5 と止められます。



【C07_(c020) 解答】 5 後、A or B

- 4 で他は、同じ、あるいは (イ口) or (4 ハ) or (イ e A 5 B)
- 2 で四ノビなしは、B

最初に C は、白 3 の四ノビ後に白 1 等と止められます。最初にハや D は、白 1 と止められます。黒 5 で A は白 e と止められます。黒 5 で B や C は否四三です。

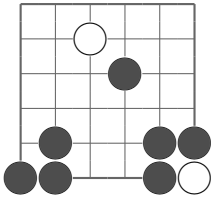


【C08_(c016) 解答】 3 後 (ホイ)

- 2 他は、(イ口ハ (ニ)) or (イ口ホへ)、あるいは 3 後 A

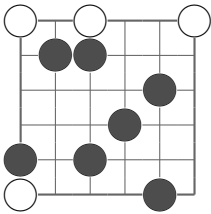
最初に 3 は白 b と、口は白ハと、ハは白 c と、ホは白 1 等と止められます。

5 四追い問題編



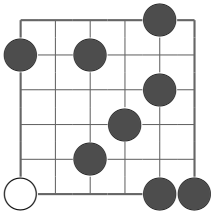
【D01_(d005)】 黒先四追い (黒 7 珠・白 2 珠)

ヒント：あわてるとノラれます。四追い回数は 7 回です。



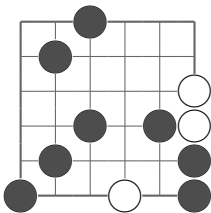
【D02_(d007)】 黒先四追い (黒 7 珠・白 4 珠)

ヒント：読みやすい形です。四追い回数は 7 回です。



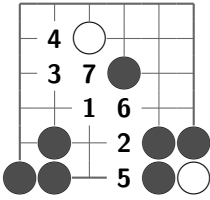
【D03_(d006)】 黒先四追い (黒 8 珠・白 1 珠)

ヒント：黒石 8 個目に棒四です。

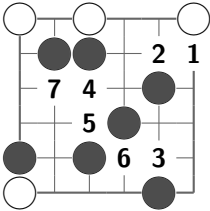


【D04_(d008)】 黒先四追い (黒 8 珠・白 3 珠)

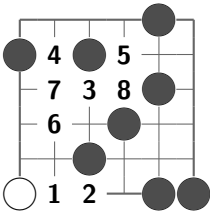
ヒント：2 手目で迷うところですが、四追い回数は 7 回です。



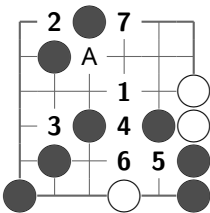
【D01_(d005) 解答】 黒 1～7 で四三勝ち



【D02_(d007) 解答】 黒 1～7 で四三勝ち



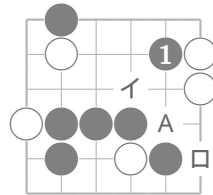
【D03_(d006) 解答】 黒 1～8 でノリ切り・棒四勝ち
一本道でした。



【D04_(d008) 解答】 黒 1～7 で四三勝ち

2 で A は、四ノビが続きますが、それだけです。

表紙の問題の解答



1 後 A の四三勝ち、or
(イ A 口) の四追いで
ノリ手をノリ返しての勝ち

六路盤詰連珠 作品集-2

2012年3月11日

2017年11月1日 初版第2刷

著者：真野 芳久

ga28735@gk2.so-net.ne.jp

発行：東海連珠会

